

今月の
トピックス

医療経済評価小委員会設立のお知らせ

委員長 國頭英夫先生にご寄稿いただきました



【医療経済評価小委員会】

JCOGでは、2022年3月5日に開催された第118回運営委員会にて、「医療経済評価小委員会」の設立が承認されました。

従来、医者はコストを度外視して眼前の患者に集中するのが倫理でした。金のことなんか考えるのは卑しい。それは政府の仕事である、と。ならばなぜ「医療経済評価」なんてものが、研究団体であるJCOGに必要なのでしょうか。



委員長 國頭英夫

悪性腫瘍に対する薬物療法の進歩は著しいのですが、分子標的治療にしても免疫チェックポイント阻害剤にしても、また新規の抗癌剤にしても、非常に高価です。2012年にカナダのIan Tannock先生は、進行大腸癌の治療成績は生存期間が2倍になったがそのコストは340倍になった、とaffordability(治療が値段的に手の届く範囲にあるか)とsustainability(持続可能なのか)について警鐘を鳴らしています。それから10年、がん薬物療法のコストは加速度的に上昇を続けています。

我が国では、国民皆保険に守られて、コストの問題は表面化していません。

JCOG研究でも、“value”すなわちbenefit/(cost + toxicity)が問題になり、治療効果がコストに見合うのかが議論になることはほとんどありません。しかしながら超高齢社会の日本で、コストを気にせず「治療の進歩」を追い求めるのには限界があります。実際、健康保険組合は高額医療の支払のためどんどん保険料を値上げし、それでも負担に耐えかねて次々と解散しています。その分を引き受けるべき国家財政も破綻の危機が囁かれています。“Sustainability”には大きな疑問符がついています。

我々は金を出せば薬は買えると思っていますが、その金はどこから出てくるのでしょうか。少子高齢化で、日本の稼ぎ手は減り出費は激増します。政府から聞こえてくる財源は、「お札を刷る」ことだけです。そんな通貨を、諸外国はいつまで信用してくれるのでしょうか。我々は、食料もエネルギーも海外に頼っています。高額医薬品の“affordability”どころか、飢え凍える懸念すらあるのです。そうであっても、「医者は金のことを考えるべきではない」と超然と構えていられるのでしょうか。

我々医療者一人一人が、いかにして限りある医療資源を賢く使っていくか、を考えねばなりません。医療レベルを落とさずにコストを抑制して“value”を高め、affordabilityとsustainabilityを維持するためには、臨床研究にも医療経済評価を組み込むことが必須です。二宮尊徳は「道徳なき経済は犯罪であり、経済なき道徳は寝言である」と喝破しています。

2022年6月18日に、第1回の小委員会を開きました。今回はまず、日本総研調査部の西沢和彦先生に、我が国の社会保険の仕組みについてご講義をお願いしました。我々は常日頃、保険医療を行っていますが、その仕組みや現況については全く無知です。

今後、この小委員会では、医療経済評価の啓蒙を進めるとともに、JCOG試験に対する医療経済評価やJCOG試験の副次的エンドポイントでの医療経済評価組み入れをいかにやっていくか、さらには“value”を重視したJCOG試験推進の方策について討論し、1年をめぐりにポリシーを作成する予定です。

医療費を削減するのは、簡単なことです。データなんて度外視して一律に「やめろ」と決めればそれまでです。ただそれでは二宮尊徳の言う「道徳なき経済」です。我々はあくまでも科学的に無駄を省き、もってsustainabilityを維持し、affordabilityを守る必要があります。皆様のご理解とご支援をお願いします。

JCOG研究の論文公表

◇ 肝胆膵/胃がん/食道がんグループ JCOG1213 森實 千種 先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/35980649/>

Effectiveness of Etoposide and Cisplatin vs Irinotecan and Cisplatin Therapy for Patients With Advanced Neuroendocrine Carcinoma of the Digestive System:

The TOPIC-NEC Phase 3 Randomized Clinical Trial
JAMA Oncology, 2022 Aug 18, Online ahead of print

◇ 食道がんグループ JCOG0909 竹内 裕也 先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/35932949/>

A Single-Arm Confirmatory Study of Definitive Chemoradiotherapy Including Salvage Treatment for Clinical Stage II/III Esophageal Squamous Cell Carcinoma (JCOG0909 Study)

International Journal of Radiation Oncology, Biology, Physics, 2022 Aug 3, Online ahead of print

◇ リンパ種グループ JCOG1105 丸山 大 先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/35909244/>

Final analysis of randomized phase II study optimizing melphalan, prednisolone, bortezomib in multiple myeloma (JCOG1105)

Cancer Science, 2022 Jul 31, Online ahead of print.

◇ 放射線治療グループ JCOG1015-A1 稲田 正浩 先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/35902868/>

Organs-at-risk dose constraints in head and neck intensity-modulated radiation therapy using a dataset from a multi-institutional clinical trial (JCOG1015A1)

Radiation Oncology, 2022 Jul 28.

募集中 サイエンス部門 メンバー募集!



国立がん研究センター中央病院ではJCOG運営事務局サイエンス部門のメンバーとして、臨床試験の方法論や規制要件を学ぶことができる「臨床研究支援部門」レジデントプログラムを用意しています。

ご興味のある方は下記までご連絡ください。
グループからの若手研究者の推薦も大歓迎です!

連絡先: JCOG運営事務局 Webmaster@ml.jcog.jp

2023年度 募集要項(応募締切は**2022年9月15日**)

国立がん研究センター中央病院レジデント募集情報

https://www.ncc.go.jp/jp/cepcd/recruit/resident_index.html

担当医別月間登録数



- ◇ 肺がん内科グループ(月間登録数:2)
水谷友紀 先生/杏林大学医学部
竹安優貴 先生/関西医科大学附属病院
- ◇ 肺がん外科グループ(月間登録数:4)
宮田義浩 先生/広島大学病院
- ◇ 胃がんグループ(月間登録数:3)
大森健 先生/大阪国際がんセンター
西田靖仙 先生/恵佑会札幌病院
- ◇ リンパ腫グループ(月間登録数:2)
八木悠 先生/がん・感染症センター都立駒込病院
蒔田真一 先生/国立がん研究センター中央病院
福原規子 先生/東北大学病院
- ◇ 婦人科腫瘍グループ(月間登録数:2)
加藤敬 先生/茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター
- ◇ 大腸がんグループ(月間登録数:6)
諏訪雄亮 先生/横浜市立大学附属市民総合医療センター
- ◇ 放射線治療グループ(月間登録数:3)
萬利乃寛 先生/山梨大学医学部
- ◇ 脳腫瘍グループ(月間登録数:2)
齊藤邦昭 先生/杏林大学医学部
木下学 先生/旭川医科大学
- ◇ 肝胆膵グループ(月間登録数:3)
脇岡範 先生/国立がん研究センター中央病院
鎌田研 先生/近畿大学病院
- ◇ 消化器内視鏡グループ(月間登録数:3)
斎藤豊 先生/国立がん研究センター中央病院

(担当医別最多登録数が1例のグループは割愛しています)

グループごと月間登録数



登録数月次レポート

<https://secure.jcog.jp/DC/DOC/member/report/index.html>

グループ	6月	7月	8月	合計
大腸がん	64	68	55	187
肝胆膵	30	43	35	108
胃がん	33	38	30	101
肺がん外科	30	33	15	78
乳がん	22	25	17	64
皮膚腫瘍	27	20	8	55
リンパ腫	14	18	16	48
肺がん内科	14	21	10	45
放射線治療	14	17	12	43
脳腫瘍	10	16	11	37
消化器内視鏡	11	9	15	35
頭頸部がん	8	13	10	31
婦人科腫瘍	9	7	8	24
食道がん	8	7	7	22
骨軟部腫瘍	1	3	3	7
泌尿器科腫瘍	1	4	1	6
合計	296	342	253	891

JCOG
Japan Clinical Oncology Group

JCOGデータセンターより

● 2022年8月の登録は253例でした。

今月はCOVID-19の影響などがあったせいか、全体的にやや低調でしたが、全グループから登録がありました。ご多用の中、ご登録ありがとうございました!

